

## 環境ブック構成の見直し方針

### 1 見直し項目

環境ブックは以下の構成で作成している。

特集
第1部 市の地域概況
第2部 市の環境への取組
第3部 様々な測定結果から見る環境
第4部 市民・事業者の活動と市の取組
資料編

第2部、第3部及び第4部の内容を次の通り見直す。

第2部:計画の進捗管理を担う章となるため、第3次環境基本計画の策定に合わせ見直す。

第3部:別冊又は資料編への統合など、より読み易くなるよう見直す。

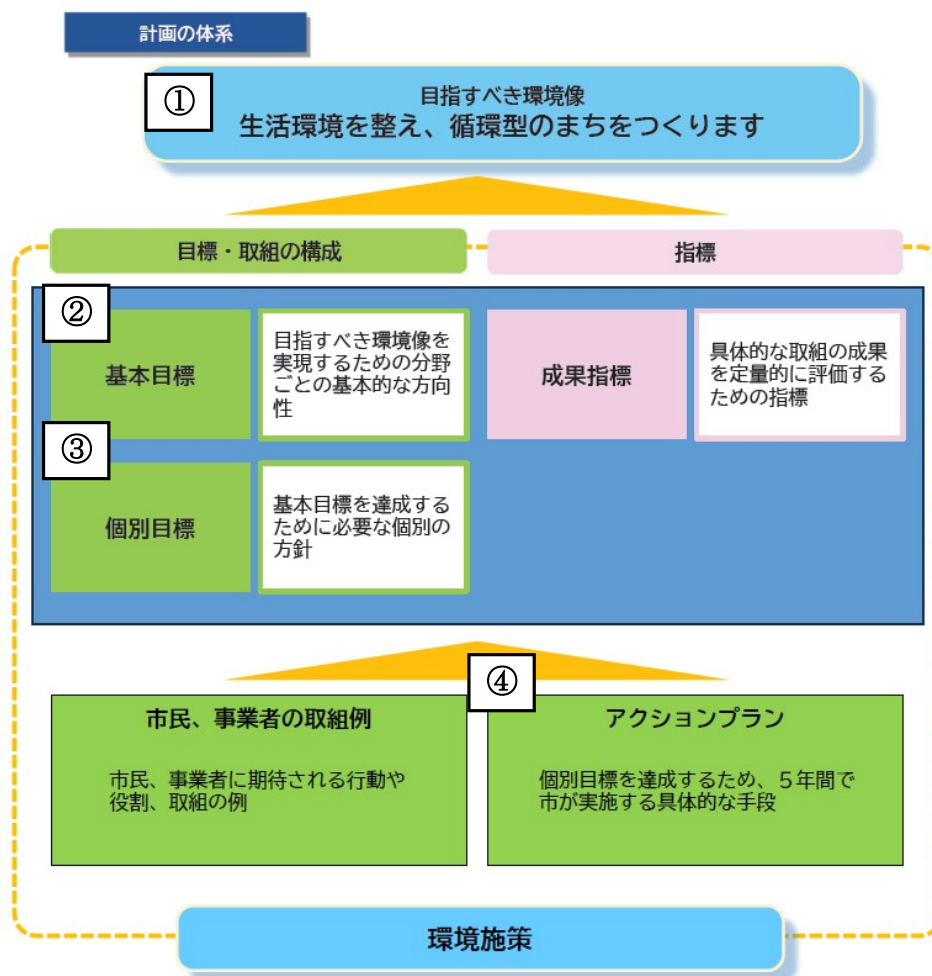
第4部:市民団体、事業者の活動をそれぞれ1ページ程度で紹介しているが、より読み易くなるよう見直す。

### 2 見直し内容

<第2部について>

#### (1) 進捗管理

○第3次環境基本計画の施策体系に合わせ、次の通り進捗管理を行う。



【①目指すべき環境像・②基本目標】

評価・見直しについては、5年経過のタイミングでの実施とし、進捗については、成果指標に係る内容と上位計画での評価などを記載することで、環境分野を取り巻く状況の現状把握を行う。

※①イメージ

## 目指すべき環境像

生活環境を整え、循環型のまちをつくります

### 令和●年度の状況

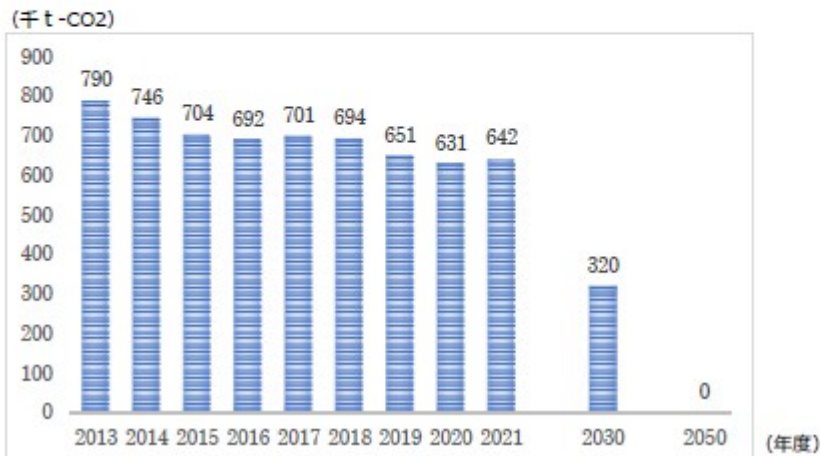
【成果指標】

- ◆市内の二酸化炭素の排出量は、パリ協定の基準年度である2013年度から●●%減少しています。
- ◆民生部門は着実に減少している一方で、産業部門や運輸部門は横ばいです。

【第5次長期総合計画での評価】

- ◆施策19「持続可能な環境の保全」や施策20「持続可能な資源循環の実現」で●●や●●に取り組むことで、～～に寄与しました。
- ◆市政に関するアンケートでは、「温暖化対策に取り組んでいる市民の割合」は令和5年度から●●ポイント増加し●●%、「ごみの3Rに取り組んでいる市民の割合」は令和5年度から●●ポイント増加し●●%、「日ごろから身近に緑や自然を感じる市民の割合」は令和5年度から●●ポイント減少し●●%となっています。

### 指標の推移



※②イメージ

<b>基本目標</b> 1	<b>脱炭素社会の実現</b> 【立川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）】 【立川市気候変動適応計画】
------------------	---

## 令和●年度の状況

### 【成果指標】

- ◆市内の二酸化炭素の排出量は、順調に減少しています。
- ◆市内の再生可能エネルギーの導入容量は、やや停滞しています。
- ◆市の事業から排出される二酸化炭素排出量は、横ばいです。
- ◆市内のエネルギー消費量は、やや増加しています。
- ◆雨水浸透樹設置件数（5年間の平均）は、増加していません。

### 【トピックス】

- ◆令和8年1月●日に本市の公共施設で初の Nearly ZEB 認証を取得した砂川学習館・地域コミュニティ機能複合施設をオープンしました。
- ◆一般社団法人電力データ管理協会より、市域における電力データの提供を受け、●●や●●などの新たな環境施策に取り組みました。

## 令和●年度指標実績

成果指標	基準値 令和5(2023) 年度	実績値 令和●(20●●) 年度	目標値 令和11(2029) 年度
市内の二酸化炭素排出量	642 千 t-CO <sub>2</sub> 令和3年度実績値	●●千 t-CO <sub>2</sub> 令和●年度実績値	427 千 t-CO <sub>2</sub> 令和9年度実績値
市内の再生可能エネルギー導入容量	14,537 kW 令和4年度実績値	●● kW 令和●年度実績値	54,121 kW 令和10年度実績値
市の事業から排出される二酸化炭素排出量	12,852 t-CO <sub>2</sub>	●● t-CO <sub>2</sub>	9,035 t-CO <sub>2</sub>
市内のエネルギー消費量	7,015 TJ 令和3年度実績値	●●TJ 令和●年度実績値	5,844 TJ 令和9年度実績値
雨水浸透樹設置件数 (5年間の平均)	635 件	●● 件	700 件

【③個別目標・④アクションプラン】

各個別目標について毎年評価を実施し、以下の通り、「目標-評価-主なアクションプラン-主な活動指標」の構成とする。  
(各個別目標について1ページ程度記載予定)

※③④イメージ

個別目標1-1

省エネルギー化の推進

評価：A

● 1-2-1 再生可能エネルギーの適切な導入の促進

● 1-2-2 再生可能エネルギーの利用の促進

市の取組の評価

- ◆●●個のアクションプランのうち、実施されているものが●個、未実施のものが●個となっています。(アクションプランの実施状況)
- ◆～～や～～といった取組により、省エネルギー化の推進に繋がりました。(関連する取組の総合的な評価)
- ◆取組の中では●●や××といった課題や不十分な点が見られます。(課題の抽出)
- ◆今後は、●●法の改正や国、都の状況を注視しつつ、～～や～～といった点を拡充することで、さらなる省エネルギー化の推進を目指します。(今後の方向性)

主なアクションプラン

No.	主な事務事業	令和●年度の取組	担当部署
②	温暖化対策事業		環境対策課
④	●●事業		産業観光課 環境政策課
⑩	●●事業		施設課 施設所管課
⑪	カーボン・マネジメントシステム 推進事業		環境対策課

主な活動指標

	単位	R6	R7	R8	R9	R10	R11
環境コミュニティ特別委員会開催	回	●	●	●	●	●	●
環境シンポジウム等参加者	人	●	●	●	●	●	●

(2) 評価方法

○現状の進捗管理は、アクションプラン毎に「○（実施）・▲（未実施）」のみで表現しているが、毎年少なからず改善や修正を重ねている状況や成果、課題等が明確でなく、PDCA サイクルを回すうえでの評価としては不十分であった。

環境ブック2024

取組		10年間の取組	担当課	実施状況
(1) 環境学習機会の拡充				
ア 環境に関する講座等の開催	環境保全や環境配慮の行動につなげるためのきっかけづくりとなるように、環境問題への関心を深めることを目的とした講座や実習を開催します。	環境対策課		○
イ 環境に関する体験学習機会の提供	小学校のプールをフィールドにした「ヤゴの救出作戦」など、小学校や保育園で、市民や団体による体験型の環境学習を行う機会を設けます。	環境対策課		○
(2) 環境配慮行動の実践				
ア 環境に関する情報の発信	本市が行っている環境配慮行動の事例や環境に配慮した商品などの紹介、市民や事業者が行っている取組とその効果の見える化を本市のホームページ、広報紙、ケーブルテレビ、コミュニティ放送などを通じて行います。 本市で収集・整理した環境に関する情報をもとに資料を作成し、学校等での環境学習に活用することを検討します。	環境対策課		○
イ 環境に関する	環境配慮行動の事例や環境問題に関するグループ	環境対策課		▲

○そのため、環境ブック2026からは個別目標毎の進捗管理とし、アクションプランの実施状況、関連する取組の総合的な評価、課題の抽出、今後の方向性などを整理して評価を行う。

○各所管部署がアクションプラン毎の「○（実施）・▲（未実施）」に加え、成果、課題等を検討し、その結果を環境政策課でとりまとめ、個別目標に照らしたアクションプランの全体の方向性が「A（おおむね順調）、B（おおむね順調だが若干変更を要する）、C（大幅な変更を要する）」で総合的な評価を行う。

<第3部について>

○主に大気や水質、騒音などの測定結果や経年変化を掲載しており、データ集としての位置づけであることから、データの詳細を掲載している資料編を含めて、データの公表方法の妥当性と読みやすさの観点に配慮して見直す。

<第4部について>

○市民・事業者の活動、市の取り組みについて、団体や事業毎に「事業の名称・開始時期・概要等」を記載いただいているが、記載内容について「一覧にする・フォーマットを変更する」等の見直しを実施し、より手に取っていただけるよう修正する。

3 庁内検討体制

全体構成や評価方法の見直しを検討するため、個別目標に関連が大きい部署を中心に構成する分科会を設置する予定。

- ・ 行政管理部施設課 (個別目標1 関連部署)
- ・ 保健医療部健康推進課 (個別目標1 // )
- ・ 産業まちづくり部交通企画課 (個別目標1 // )
- ・ 環境資源循環部ごみ対策課 (個別目標2 // )
- ・ 都市整備部公園緑地課 (個別目標3 // )
- ・ 産業まちづくり部農業振興課 (個別目標3 // )
- ・ 危機管理対策室危機管理課 (個別目標4 // )
- ・ 環境資源循環部環境政策課 (個別目標5 関連部署、事務局)